

30. ごぼう

・殺菌剤（参考農薬）

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
M4	オーソサイド水和剤80	散布	収穫14日前まで	5回以内	
NC	カリグリーン	散布	収穫前日まで	-	野菜類(トマト、ミニトマトを除く)
NC+M1	ジーファイン水和剤	散布	収穫前日まで	-	野菜類(なすを除く)
NC	ハーモメイト水溶剤	散布	収穫前日まで	-	野菜類

・殺虫剤（参考農薬）

IRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
3	アディオン乳剤	散布	収穫7日前まで	5回以内	
4	アドマイヤーフロアブル	散布	収穫7日前まで	2回以内	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

注4) 蚕毒・魚毒については、「34. 野菜類の総括注意」も参照する。s

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病害虫名	防除時期	防除方法	注意事項
黒斑病 (F)	生育期間	[参考農薬] 1. オーソサイド水和剤80の800倍液を散布する。	1. 生育初期に多発すると実害が大きいので、発生を認めたら速やかに防除を実施する。
うどんこ病 (F)	生育期間	[参考農薬] 1. カリグリーン、ハーモメイト水溶剤の800～1,000倍液、ジーファイン水和剤1,000倍液のいずれかを散布する。	1. カリグリーンは発生初期に5～6日間隔で、連続散布する。 2. 葉裏にも十分かかるように散布する。 3. ジーファインは、高温多湿時に散布すると銅による薬害発生の恐れがある。
ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	は種前	1. 土壌線虫の項を参照する。	
アブラムシ類	生育期間	[参考農薬] 1. アディオン乳剤2,000倍液、又はアドマイヤーフロアブル4,000倍液を散布する。	1. アディオンは蚕毒及び魚毒に、アドマイヤーは蚕毒に特に注意する（特別指導事項参照）。